

学校だより

令和6年12月2日(月) 第8号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



評価と検討と改善

校長 細井博幸

寒暖の差を強く感じた11月も終わり、今年も最後の1か月となりました。学校に隣接する雑木林からの落ち葉も日に日に増え、今年も男子ソフトテニス部の子どもたちが、朝の時間を利用して正門前の道路の落ち葉を集めてくれています。今年も綺麗にしてくれてありがとう。

さて、今年も保護者対象の学校評価アンケートを10月11日(金)～11月2日(土)の期間で実施し、その結果を別紙「学校だより特別号」にてお伝えしております。御協力ありがとうございます。保護者の皆様におかれましては、小学校から毎年この時期に行われている学校評価ですが、ここで改めてその目的を確認したいと思います。

<学校評価の3つの目的>

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

※文部科学省「学校評価ガイドライン」より引用

目的からも分かるとおり、今回得られた学校評価の結果を集計公表することが大切なのではなく、結果から検討を行い、今後の改善に繋げることで、教育の質の向上を図ることが求められます。本校では、11月18日に行われた職員会議にて結果を共有し、1月15日までに各分掌の教職員が今後の取組について検討し、学校運営協議会において改善策を提案、実行していく流れとなります。全ての御意見や御要望に対し、すぐに応えられる訳ではありませんが、これまで41年間積み重ねてきた歴史を踏まえながら、一步一步着実に改善を図ってまいりたいと考えております。

それでは、昨年度の学校評価を受けての改善、そしてその成果はどうだったのでしょうか。学校だより5月号でも取り上げましたが、昨年度の学校評価の結果を受け、「保護者、地域との協力や連携」を1番の課題とし、目指す学校像を「地域の学校として学校・家庭・地域が連携・協働し、社会に貢献できる人材を育む学校」に変え、学校運営協議会の活性化、地域貢献のためのボランティア活動の充実、体育祭の参観席の拡大、PTA活動内容の検討、学校ホームページを活用した継続的な情報発信等に取り組んでまいりました。その結果、本年度の保護者対象とした学校評価アンケートでは、「学校は、保護者、地域の協力、願いを受け止めて、学校の教育活動を進めている。」及び「学校は、保護者や地域の人々との連携を図って教育活動を進めている。」に対する肯定的な回答の割合が、昨年度と比べ4.4Pt及び1.8Pt増と取組の成果が少しずつ評価にも表れてきているように感じます。引き続き学校運営協議会を中心とし、学校の課題を熟議し、地域の学校として、より一層地域の皆様からの信頼、協力が得られるよう努めてまいります。

最後に、本年も本校の学校教育活動への御理解、御協力ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

